

# Kayak Dog

[Home](#) ▶ [工房 "KAYAK9"](#) ▶ [Wood Duck 12の製作](#) ▶ (3) サイドパネル組み立て

## (3) サイドパネル組み立て

2011年 9月 01日(木曜日) 20:52 | Author: サセックス卿 | [📄](#) [📄](#) [📧](#)

パネル同士の突き合わせを45度にベベル(斜め)カットしろとマニュアルに書いてありますが、ボトムパネルではこの角度は大きすぎました。そこでサイドパネルはボトムあるいはシアーパーネルとの突き合わせ角度に(おおよそ)合わせてベベルの角度を変えました。この突き合わせ部は外側をキッチリ接合するためと同時に、(その後行う)内側のエポキシによる接着面の確保のためでもあるので、二枚のパネルが内側で隙間なく接していると接着剤の入り込む余地がなくなってしまう。けれど、あまり広いのも考えものですからなかなか悩ましい。

さて、次にサイドパネルをボトムパネルに縫い合わせていきます。中央上部から始めてパウ、スターンへ、そして下部へとスティッチを進めていきますが、ここのスティッチは楽しいです。縫い合わせるについて船体のカーブが見えてきますし、突き合わせ角度も適当なので(外側は)きっちり隙間なく合わさりますし、なによりこの部分は縫い合わせ作業がラクチンです。



### メインメニュー

[Home](#)

[工房 "KAYAK9"](#)

[Wood Duck 12の製作](#)

[カヤック製作準備](#)

[アトリエ](#)

[情報源](#)

[アマゾン号に乗りたい!](#)

[コンタクト](#)

[プロフィール](#)

[ブログフィード](#)

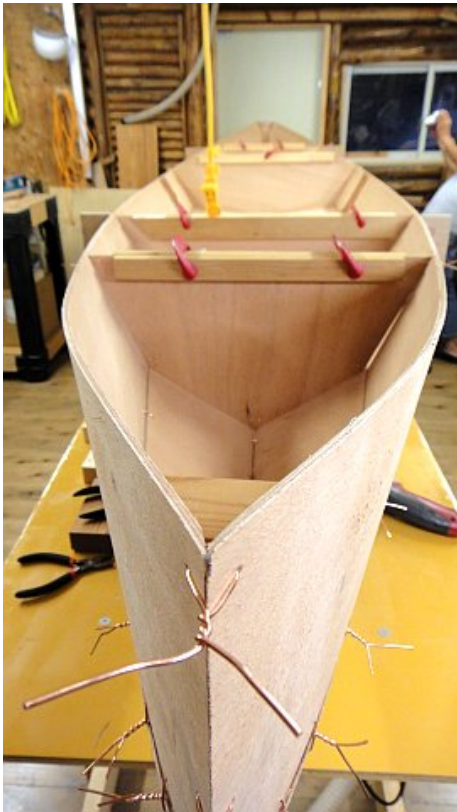
[Links](#)



最後に残したパウとスターンのスティッチですが、ここは難物でした。ねじって微妙なカーブの出ているボトムパネルに合わせてサイドパネルを縫い合わせるのですが、パネルを押し込んで合わせるとその前（あるいは先）が出張ってしまう。また、ベベルカットしてあるためパネル同士がずれ込んで上下の段差ができてしまいました。ほとんど直線にパネルが合わさるこの部分には、ベベルカットは必要なかったのかも知れません。



スターンにはちっちゃなトランサムとなる三角形の板をはめ込み、ノリが出来上がりました。



早くデッキを乗せてみたいなあ。でもスティッチをやり直したり、銅線引きちぎったり、たくさんの銅線がゴミになりました。



最終更新 (2011年 9月 02日(金曜日) 10:07)

© 2009 [Kayak Dog](#)  
All Rights Reserved.

powered by Joomla  
free templates by Deposit Poker & Unlimited Web Hosting